

富士川中流域アユを育む・清流プロジェクト 第三回検討会

日程 : 令和6年3月22日(金) 14:30～

場所 : 早川町役場 会議室

(1) 令和5年度の活動報告

- ・ 既往の調査結果等の報告
- ・ 取り組み状況の報告
- ・ 河川美化活動、イベントの報告
- ・ 魚道の維持管理の報告

【質疑】

Q: 富士川の年間最高水温が低い時期にアユの釣果が少なくなったとの報告だが、どのようなことか。

A: 過年度における年間最高水温とアユの確認状況を照らし合わせてみると、アユが少なくなったと言われる年は、年間最高水温が低い傾向が見受けられた。水温は生息環境を説明する要素の一つではないかと考えている。

(2) 令和6年度の取り組み

- ・ 令和6年度の取り組みの提案
- ・ PR チラシの提案

【質疑】

Q: 次年度の巨石の露出高調査に目をつけたきっかけは。

A: アユは河床に石がない状態や石が埋まってしまっている状態だと定着しない。はまり石よりも浮き石の状態の方がアユの定着に適するという話がある。

(3) 「アユの生活史及び生活環境 今と昔との富士川のアユ釣り」 講義

【質疑】

Q: カワウの食害による影響は、河川環境の変化による影響と比較してどの程度のものか。

A: 山梨県はカワウ対策に関して全国的に先進県であり、被害に関しては軽減できていると言える。一時期に比べカワウの個体数は減少してきているが、アユも減少しているため、どちらかと言うと環境変化による影響が大きいことが推測される。

(4) その他

地域活性化について意見

富士川は清流であるため、アユが戻ってきている。これが富士川に波及していくことを期待する。今後は、「山梨はキレイな水流、釣りにも良い環境がある」と言うことが世間に浸透していけば、ますます賑わいが出ると思う。引き続きプロジェクトを進めてもらいたい。